

作
品
で
あ
る

The play is the work

戯
曲
は

本当に大事なことはあなたの目の前では起こらない

タイトルが「本当に大事なことはあなたの目の前では起こらない」であることを明示の上、宣伝をする。

観客が、タイトルを知った上で所定の上演会場に来られるようにする。

上演場所は、劇場などなるべく標準的な上演空間がよい。

上演場所の入り口の前に、中に入れないように障壁を作る。

来た観客一人一人に、以下のメッセージを伝え、納得させる。言葉で伝えなくてもよい。

この中で起きていることはあまりにも個人的で大事なので、あなたに見せるわけにはいかない。

例えば、あなたは、恋人との別れや、友人との親密な会話や、子供に大事なメッセージを伝える瞬間を他人に見られてもいいのか。もし、よいとしても、他人に見られている時と、ひとときでは違うことになるだろう。今、この中で起きているのはとても大事なことなのだ。とても大事なので、何が起きているかをあなたに説明するのはばかられる。普段劇を観に行く時には舞台上でそのようなことがおきるのは当たり前かもしれないが中にいる人と私にとってはあなたの目の前で行うにはあまりにも個人的で本当に大事なことなのだ。

岸井大輔 本当に大事なことはあなたの目の前では起こらない 2015年

KISHII Daisuke | THE PLAY IS THE WORK

岸井大輔個展 戯曲は作品である

2015年6月13日 | Saturday | ——— 7月5日 | Sunday | 会期中無休 | 入場無料

時間 | 平日13:00—19:00 土日祝12:30—19:00 | 毎日19:30より関連イベントあり(有料)

会場 | ARTZONE(アートゾーン) | 604 8031 京都市中京区河原町三条下ル一筋目東入ル大黒町44 VOXビル1・2F

ARTZONE

戯曲は 作品である

KISHII Daisuke

THE PLAY IS THE WORK

○はじめに

私の作品の前提は「人間は演じている。職場で学校で道で家庭で、あらゆる場所であらゆる瞬間に」です。その上で、演技や演劇を生み出すモノを戯曲と呼んでいます。私たち現代劇作家は、戯曲を創造するのが仕事です。新たな可能性を提示し、それが上演されることで世界そのものが更新される可能性に賭ける。

今、私たちは、ばらばらに生きている。しかし、ある日、はるかかの過去と同じ戯曲の上で出会っていたことを発見するかもしれません。その日までするために、戯曲は独立した作品であることが求められているのです。

岸井大輔

○プロフィール

岸井大輔(きしいだいすけ)。劇作家。

1995年より、他ジャンルで追求された創作方法による形式化が演劇でも可能かを問う作品を制作している。代表作『P』『POTALIVE』『文(かきことば)』『東京の条件』。

1970年11月生。最初の記憶から人形劇をしている。小学校ではままごとと学級会演劇に明け暮れる。1982年開成中学入学。演劇部で小劇場と諸現代芸術を見ながら、演劇だけが近代芸術であることに疑問をもつ。1989年早稲田大学第一文学部入学。1995年に演劇以外の芸術ジャンルは、そのジャンルを定義することでジャンルそのものを問い直した先達が現代芸術を創った(美術におけるバウハウス・デュシャン、音楽におけるシェーンベルク・ケージ・シェーファー、ダンスにおけるラバン・フォーサイスのような)が、演劇にはないことが、演劇が現代芸術である原因だと確信する。あるいは芸術におけるモダニズムの完遂を「創作方法によるジャンルの形式化」と捉え、われわれの世代の演劇人の歴史的役割はこの問題と向き合うことだろうと考え、創作の指針とする。1995年から、スタニスラフスキー・システムなどの演劇創作の方法論を形式と捉え、演劇概念を拡張する試行を開始。記憶の再生が演技を生み出すことそのものを演劇と見なすプロジェクト『記憶の再生』、判断を全てサイコロに委ねる演劇『P』などを発表。その過程で、演劇を「人間の集団を素材とする」と定義。人間集団として、「まち」を捉え、まちが表現する状況を設定する作品群『POTALIVE』、人間集団へ出入りする場を演劇として提示するシリーズ『LOBBY』、集団が良い劇を創作する方法の一つを形式化したワークショップのシリーズ『作品を創る/演劇を創る』、日本集団を日本語を通して捉えるプロジェクト『文(かきことば)』などがある。2009年から2012年には、東京における公共を考えるために、ハンナアレントの『人間の条件』を戯曲と見なし都内で上演するプロジェクト『東京の条件』実施。「会議体/準備室」などの諸プロジェクトを通し、人間集団を創る作品を手掛ける。

2013年上演を「人間集団を美的に捉えそれに立ち会うこと」と定義し、上演など仮の表現と戯曲などの物との関係と倫理を調査・試演している。

○アクセス

ARTZONE(アートゾーン)

604 8031 京都市中京区河原町三条下ル一筋目東入ル大黒町44 VOXビル1・2F

telephone→075 212 9676 e-mail→info@artzone.jp web→http://artzone.jp/



電車・地下鉄: 京阪電車「三条駅」または地下鉄「京都市役所前駅」から徒歩5分 阪急電鉄「河原町駅」から徒歩10分

バス: 市バス3・5系統「河原町三条」から徒歩1分

※駐車場・駐輪場はございませんので、上記の公共交通機関などをご利用ください。

○関連イベント(連日19:30より開始)

本展期間中、岸井大輔の戯曲を使用した上演やトーク・レクチャーを開催します。詳細は、ARTZONEウェブサイト、およびARTZONEのSNSで随時告知いたします。 web→http://artzone.jp twitter→@kuad_artzone

時間 | 19:15 = 開場、19:30 = 開演

※終了時刻は演目によって異なります。

※19:00以降は上演やトーク・レクチャー開催のため、展示はご覧になれません。

料金 | 一日券 = 各項目に記載(1,000円-1,500円) 全日通し券 = 5,000円

オープニング・パーティ

2015年6月13日(土) 15:00 - | 無料

レクチャー→演劇に興味がある演劇人以外のアーティストのための基礎戯曲講座1「ロミオとジュリエットは上演可能なか」

2015年6月13日(土) 19:30 - | 講師: 岸井大輔 | 1,000円 | 参加条件: シェイクスピア『ロミオとジュリエット』を読んでくる

上演 & トーク→『油彩画家のための戯曲』からかかれたもの

2015年6月14日(日) 19:30 - | ゲスト: 梅津庸一(美術家)、販売演出: 澄井 葵、油画: 安藤裕美(パープルーム予備校研究生)、演劇: 渡辺美帆子(二十二会)ほか | 1,500円

トーク→「社会や生活の中で可能性を試しながら生きてみている」

2015年6月15日(月) 19:30 - | ゲスト: 陸奥 賢(観光家・社会実験者)、鈴木一郎太(株式会社大と小とレフ) | 1,000円

レクチャー→演劇に興味がある演劇人以外のアーティストのための基礎戯曲講座2「ロミオとジュリエットは上演可能だった」

2015年6月16日(火) 19:30 - | 講師: 岸井大輔 | 1,000円 | 参加条件: 基礎戯曲講座1の受講

トーク→「劇作家は作家なのか」

2015年6月17日(水) 19:30 - | ゲスト: 柴 幸男(劇作家・ままごと主宰) | 1,000円

トーク→「戯曲は作品なのか」

2015年6月18日(木) 19:30 - | ゲスト: 黒瀬陽平 | 1,000円

レクチャー→演劇に興味がある演劇人以外のアーティストのための基礎戯曲講座3「イブセンは正気か」

2015年6月19日(金) 19:30 - | 講師: 岸井大輔 | 1,000円 | 参加条件: イブセン『野がも』を読んでくる

上演→『遠く』

2015年6月20日(土)、21日(日) 19:30 - | 演出: 羽鳥嘉郎 | 1,500円

※R20。空腹のご来場はお勧めしません。

レクチャー→演劇に興味がある演劇人以外のアーティストのための基礎戯曲講座4「プレヒトは現実と対峙する。最大射程で」

2015年6月22日(月) 19:30 - | 講師: 岸井大輔 | 1,000円 | 参加条件: プレヒト『ガリレイの生涯』を読んでくる

トーク→「場は演劇なのか? ARTZONEから考える」

2015年6月23日(火) 19:30 - | ゲスト: 伊藤 悠(island JAPAN代表) | 1,000円

上演→ポロポロ ~戯曲『記憶の再生』を巡る~

2015年6月24日(水)、25日(木)、28日(日) 16:00 - 18:00 インタビュー(予約制)、19:30 - 開始 | 構成・演出: 伊藤拓也、出演: 西岡樹里、新田あけみ、前田愛美 | 各日1,500円 ※記憶のインタビューでは、お客様自身の記憶のインタビューを行います。インタビューを希望される方は、事前予約をお願い致します。尚、インタビューは公開されます。連絡先→takutaku.f@gmail.com

朗読→『六本木ヒルズを守る一族』ほか

2015年6月26日(金) 19:30 - | 出演: 吉野正哲(マイアミ) | 1,500円

ライブ→『桜木水取』ほか

2015年6月27日(土) 19:30 - | 出演: MOGURA KAGURA & 大蔵キエ | 1,500円

上演→『メイド喫茶の条件』

2015年6月29日(月)、30日(火) 19:30 - | 出演: 二十二会(渡辺美帆子+遠藤麻衣)、演出: 谷 竜一(集団:歩行訓練) | 各日1,500円

レクチャー→演劇に興味がある演劇人以外のアーティストのための基礎戯曲講座5「ギリシャは命を問う」

2015年7月1日(水) 19:30 - | 講師: 岸井大輔 | 1,000円 | 参加条件: アイスキューロス『供養する女たち』もしくはソフォクレス『エレクトラ』もしくはエウリピデス『エレクトラ』を読んでくる

上演→始末をかく1『芭蕉を植える』

2015年7月2日(木)、3日(金) 19:30 - | 出演: 始末をかくプロジェクトメンバー(遠藤麻衣、橋本匠) | 各日1,500円

上演→始末をかく2『こころをよむ』

2015年7月4日(土)、5日(日) 19:30 - | 出演: 始末をかくプロジェクトメンバー(遠藤麻衣、田上 碧、武久絵里、橋本匠) | 各日1,500円

※内容は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

主催: 京都造形芸術大学 ARTZONE 協力: 京都造形芸術大学 アートプロデュース学科 キュレーター: 堀 拓也 アシスタント: 鈴木美夏(京都造形芸術大学 アートプロデュース学科4年生)